

XVII Consortium

~ 第6回 XMLコンソーシアムWeek セキュリティDay ~



個人情報保護の時代とセキュリティ

日本オラクル株式会社 システム製品統括本部 担当ディレクター 北野晴人,CISSP

Copyright © Oracle Japan 2007 All rights reserved





個人情報保護法施行から2年

- 変わったこと
 - 監督官庁の厳格な対応が目につくようになった。
 - ■「個人情報」が良くも悪くも普及した。
 - それなりにセキュリティは向上した。
- 変わらなかったこと
 - 漏洩事件は相変わらず起きている。
 - 企業システムの根幹はあまり変わらなかった。
 - 「法の趣旨」の個人理解度はやや疑問?





さまざまな問題が発生する

●経済的な損失 ●「お詫び」の費用

- ●問い合わせ対応
- ●原因究明の作業
- ●その後の対策費用
- ●機会損失
- ●裁判費用
- ●損害賠償

●コンプライアンス・行政指導

- ●個人情報保護法
- ●関連業界の各法制度・規制

●信用・ブランドの失墜

- ●イメージダウン
- ●株価への影響
- ●顧客喪失





詐欺事件

- 漏洩したカード番号で詐欺購入
- -振り込め詐欺
- **盗んだ顧客情報を使った<u>詐欺振込</u>**

脅迫·恐喝

- _「おたくの個人情報を持っている」
- 「公開されたくなければ買い取れ」

架空請求

- -アダルトサイト架空請求など
- -メール・手紙・電話







保護法はできたけれど

- 情報を盗んでも「窃盗罪」ではない。
 - ■「有体物」ではない
 - 会社のCDを使ったら窃盗、コンビニで買ってきたら窃盗 ではない?
- 他の法律の適用、または二次的犯罪で逮捕。
 - 不正アクセス禁止法
 - 業務妨害罪(威力·偽計)
 - 不正競争防止法
 - 脅迫、詐欺





保護法はできたけれど

- 不正アクセス禁止法
 - ■「電気通信回線を経由して」が引っかかる。
 - 明示的に保護していなければ適用が難しい。
- 威力業務妨害・偽計業務妨害
 - 最近適用を散見するようになった。
- 不正競争防止法
 - 改正後は罰則ができた。
 - 期待されていたが適用範囲が難しい。





情報をとりまく環境の変化

(1:技術的環境)

- パソコンは劇的に低価格化し高機能化した。
- 使うだけなら高いスキルが不要(家電製品化)。
- いつでも、どこでも、コンピュータが使える。 (モバイルの普及とユビキタス化)
- インターネットとブロードバンドの普及は凄まじい。 (情報がタダで、世界中から手に入る)

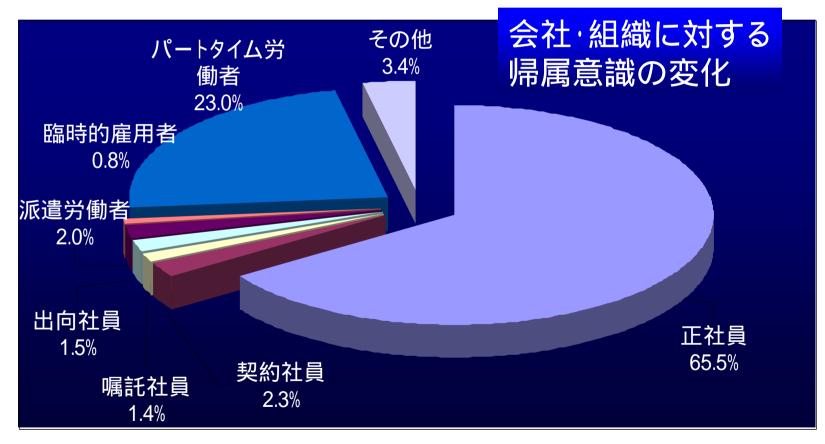
おっと今日から 誰でもハッカー?





情報をとりまく環境の変化

(2:雇用の流動化と多様化)



出典: 平成16年7月厚生労働省発表 「**平成15年就業形態の多様化に関する総合実態調査結果の概況**」



脅威はあとから追いかけて(る?

- ●法制度と社会の変遷
 - ●個人情報保護
 - ●内部統制
 - ●雇用形態
 - ●国際情勢 …

円熟·社会基盤

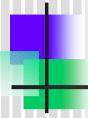
進化·発展

利用の促進

セキュリティ 脅威の顕在化

開発·検討 標準化





内部統制とWebサービスの時代へ

- 金融商品取引法と内部統制にむけて。
 - 内部統制のためのIT整備と投資
 - セキュリティも重要なIT全般統制の一部
- テクノロジーはWebサービスの時代へ。
 - SOA
 - Federation
 - XMLは最も重要な要素技術のひとつ





普及に伴い顕在化する脅威

- Web技術の発展と共に顕在化した例。
 - クロスサイト・スクリプティング
 - Webブラウザの脆弱性
 - SQLインジェクション
- Webサービス、XMLについては?
 - 攻撃する人はまだ少数
 - 脆弱性の研究・普及はこれから?
 - 普及と共に未知の問題がどれくらい起きるか?





脅威の兆候

- Microsoft「XMLコア サービスの脆弱性により、 リモートでコードが実行される」
 - http://www.microsoft.com/japan/technet/security/Bulletin/MS06-061.mspx
- Mozilla Foundation「XMLのパース中にバッファが 読み出される」
 - http://www.mozilla-japan.org/security/announce/2006/mfsa2006-07.html
- 今はまだ考えつかない問題が起きる可能性は 十分にある。



情報保護のための主な要素

認証強化

なりすまし 認証回避

Consorthum

複数要素認証 パスワード管理 ID管理など PKIによる認証

アクセス コントロール 通信暗号化

想定される主な脅威

職責を超え た操作

ACL

MAC

通信経路上 での盗聴

サーバ間通信 権限管理 クライアント通信 RBAC

主な対策要素

格納データ 暗号化

ファイル・ バックアップ メディア盗難

暗号化

查瘟

正当な権限 による不正

ログの取得と 保全·分析 追跡





XML・Webサービスへの期待

- ■より快適・効率的な新世代のサービスを創造
- その時に予測できるセキュリティ上の脅威に ついては可能な限り対策を実施する。
 - ■技術仕様の検討と標準化
 - 新しいWebサービスセキュリティ技術の開発
- 未知の脆弱性・問題が顕在化した場合の 迅速な対応が可能な体制作り。